

社会資本総合整備計画（第1回変更）

平成28年3月16日

計画の名称	1 袋井市における安全・安心で快適な住環境の確保(地域住宅計画(防災・安全))							重点計画の該当				
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)			交付対象	袋井市							
計画の目標	『セーフティネットの構築と少子高齢社会への対応を推進することにより、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりを実現する。』『自らが住む地域へと関心が広がる中、地域づくりにつながるような住環境向上を実現する。』(地域住宅計画)											
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅の安全性確保や住環境向上のため、老朽化した屋上防水・外壁塗装改修工事が必要な割合</li> <li>耐震補強された市内の木造住宅の棟数 (全て地域住宅計画)</li> </ul>											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)	※中間目標は任意			
	市営住宅の総戸数に対する改修工事の終了した住戸の割合 (屋上防水、外壁塗装改修工事率) = (改修した市営住宅戸数) / (市営住宅総戸数)					12%	-	61%				
	補助制度を活用して耐震補強工事を行った木造住宅の棟数					671棟	-	713棟				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	131.百万円	A	106.百万円	B	-	C	25.百万円	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	19.1%

交付対象事業

A 基幹事業										効果促進事業費の割合							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
1-A1-1	住宅	一般	袋井市	直接	市		公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅の屋上防水・外壁塗装	袋井市						102	策定済	
1-A1-2	住宅	一般	袋井市	直接	市		空き家再生等推進事業	空き家等対策計画の策定のための空き家実態把握調査(市内全域)	袋井市						4	-	
小計											106	-					

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C1-1	住宅	一般	袋井市	直接	市		木造住宅耐震補強助成事業	耐震補強助成	袋井市						25	
小計											25					

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C1-1	民間住宅の耐震性の確保により、安全な住環境の形成が促進される。											

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

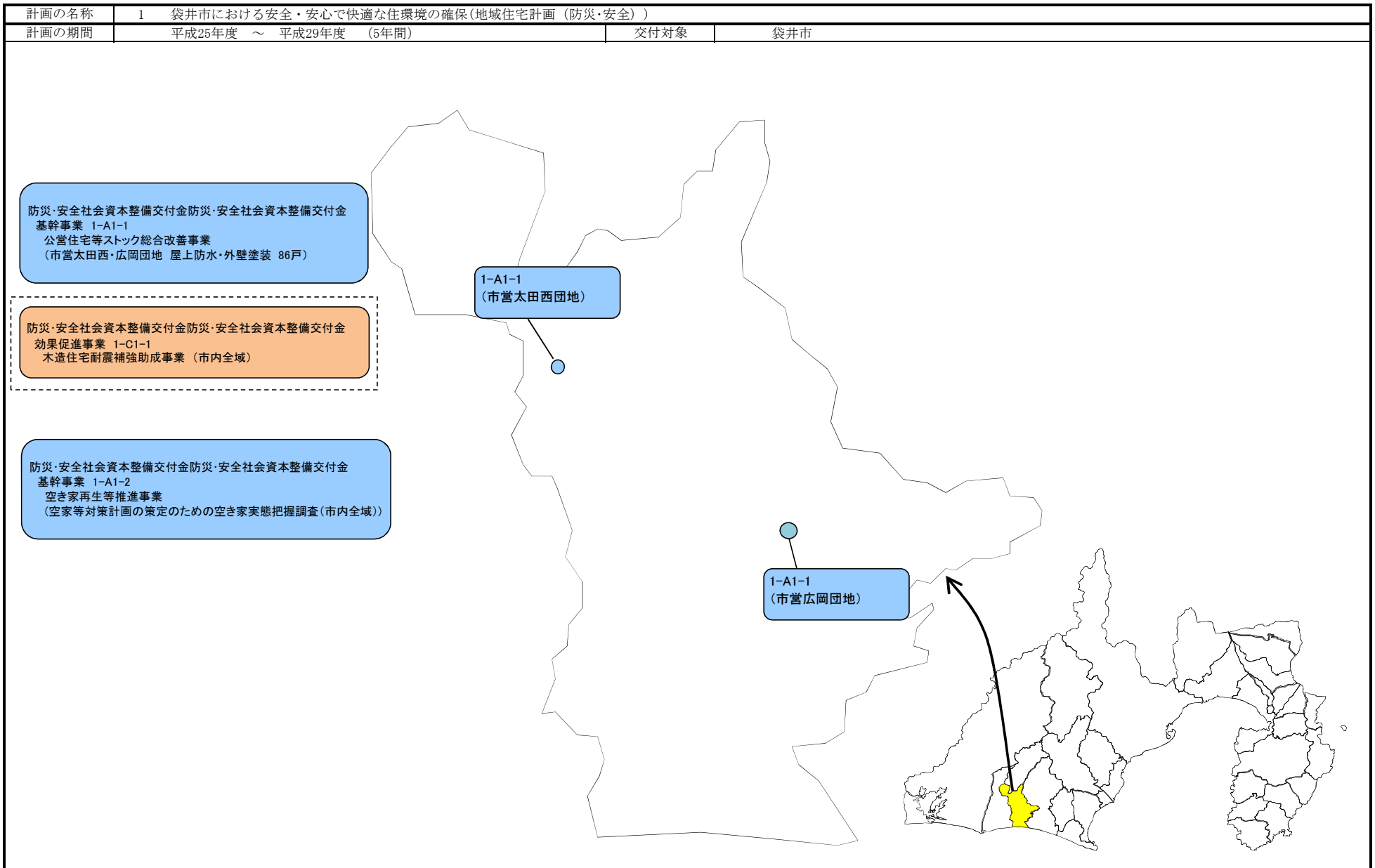
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	1.440	9.672	11.500	17.742	
計画別流用等 増△減額(b)	0.000	1.555	0.470	3.008	
交付額 (c=a+b)	1.440	11.227	11.970	20.750	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	0.000	0.000	
支払済額 (e)	1.440	11.227	11.970	20.750	
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	0.000	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由					

# 地域住宅支援



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 袋井市における安全・安心で快適な住環境の確保(地域住宅計画(防災・安全))

事業主体名: 袋井市

計画期間: 平成25年度～平成29年度

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が基本方針と適合している。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
⑤事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
⑥地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画を公表することとしている。	○